

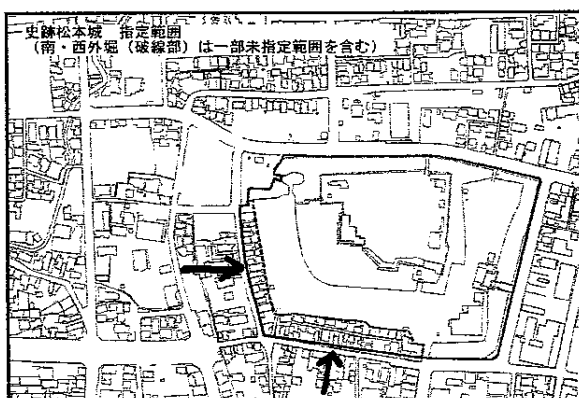


国宝 松本城 の外堀復元事業

現住民の立退き協力に驚く

岐阜市議会無所属クラブの行政視察・長野県庁・上田市・松本市

○史跡松本城指定範囲図



無所属クラブは、2月8・9日、長野県庁の新電力の実績状況と長野県上田市・松本市の城郭を生かした行政などについて視察しました。

城郭を活かした事業の視察ですが、まずは松本城は国宝である事が「羨ましい」と言えます。復元事業も、松本市民の歴史・愛情と共に実施されていると感じられます。

左図は城の現図ですが、実線が元の外堀の外側です。図面左と下の堀は現在、市民住居

が現存しています。小さな四角が多く見えますのは市民の家です。この堀を元に戻そうと事業が行なわれています。堀を実現するために市民の転居をお願いし、市民も協力して、ほぼ目処が立ったとのことです。史跡復元の為に、市民に転居をお願いする事業は全国的にも珍しいとの事です。平成19年度に事業着手、25年度から史跡指定地の公有化に取り組み、対象面積9,300㎡(事業範囲の民有地)の用地取得は現在43%取得済みまで来たとのことです。事業を計画する自治体も、積極協力する市民も、国宝松本城への「想い」が無ければ出来ない事と「その歴史」を感じました。

外堀内側の市立博物館は移転する

外堀のもう一つ外に総堀が本来はあるのですが、今では復元は困難。せめて、外堀の内側は復元したいとの「想い」が伝わって来ます。内側にある市立博物館は移転が決まっているそうです。平成29年度からは、堀復元のための発掘調査に入ります。

平成27年度の入城者数は約95万人(前年度比12%増)でしたが、28年度は12月末で2%増にとどまっており、伸び率鈍化への対策必要とのこと。近年は外国人観光客が増加し、有料観覧者全体の12%になるとのことで、ガイド育成も課題と。

2月の雪の中、欧米、アジアの外国人観光客が多く入城されていました。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

本庁で 1,870 万円・合同庁舎で 2,168 万円 電力自由化を生かし節約 **長野県庁**



無所属クラブは、長野県議会の応接室（写真）で、丁寧な説明をして頂きました。長野県の新電力との契約での成果（年間節約）は、標記の金額です。県は今後もブロック単位で新電力との契約を拡大して行こうとされているとの事でした。

史実に基づいた復元が課題 **上田城**

「大河ドラマ 1 年後のイベントに、大河のメンバーを出演願ったら、1000 万円掛かりました。」との事です。観光客動員を見ると「1000 万円の価値はあった」との事です。大河後の課題も大きいと思います。上田城は平城ですが、櫓が少しあるだけで、門は復元されたものです。資料が無い為に、史実に基づく復元が困難との事でした。それでも、大河ドラマの余韻はまだあると感じました。大河ドラマの誘致は魅力。



松原のりかず
☎058-253-2500